

学校運営計画(4月)		評価(3月)		
学校運営方針		社会的自立の基盤となる、学力、体力、豊かな心を培うとともに、社会の変化に対応し、社会に「知恩感謝」の念を持ち、社会を支え、その発展に寄与する力を有したグローバルな工業技術者の育成を図る。		
昨年度の成果と課題		年度重点目標	具体的目標	
【成果】 ・基本的な生活習慣の確立(遅刻欠席数の減少) ・自学自習の習慣化、及び資格取得の増加 ・コンテスト、競技大会等、ものづくり活動での実績 ・生徒会を中心とした生徒全体の学校行事への主体的取組 ・企業及び大学等の情報収集と的確な指導による進路指導の充実		1 学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善に積極的に取り組み、肅然とした授業規律のもと、確かな学力を育成する。特に、自学力(自分で学ぶ力、自ら学ぶ態度)の育成。とアクティブラーニングを推進し、生徒が主体的・対話的で深い学びを通してたくましく生きる力を育成する。 2 一人ひとりの個性、各科の特色を生かしながら、ものづくりへの態度を育て、工業高校生としての技術力の向上を図る。特に、資格取得、各種コンクール等への組織的、系統的な指導を推進する。 3 学校行事、生徒会活動、部活動等を通して、チーム力を鍛え、挑戦させ、認め、評価することで生徒の可能性を伸ばし、心身ともたくましい生徒を育成する。特に、部活動の活性化により、学校生活の充実を図る。 4 道徳教育を推進し、規範意識・人権尊重の精神を涵養し、自律心と思いやりの心にあふれた生徒の育成を目指し、生徒の自己指導能力の伸長を図る。特に、基本となる指導内容の統一を図る。 5 いじめ問題等については、いじめ防止対策推進法に基づき、「学校いじめ防止基本方針」を策定し、いじめ問題の未然防止、早期発見、早期対応を徹底し、安全・安心な学校を目指す。 6 自己の在り方生き方を深く自覚させ、目標に向けて努力する学校生活の実現に向け、キャリア教育を組織的、体系的に推進する。特に、第1学年からの系統的指導を展開する。 7 専門高校として、生徒一人ひとりの希望と適性に応じた進路指導、職業教育を推進する。生徒の進路実現(第一希望100%)を目指す。 8 国際的視野を備えた工業技術者を育成するため、英語コミュニケーション能力の向上を図るとともに、世界を舞台に活躍する高い志を育成する。特に、社会のグローバル化に対応した教育活動を展開する。 9 これからの時代を生きる生徒たちのために、デジタル機器を積極的に活用するなど先進的な学習、指導方法を推進する。 10 地域に開かれた学校づくりの核として、学校行事を活性化させ、それを通じて、地域住民の「顔見知りの関係」「学校・地域への関心・理解」「課題を共有する関係」を深めていく活動を推進する。	1 授業改善への積極的な取組によるアクティブラーニングの推進 2 「創作工夫」の心構えを持ち、新しい事へのチャレンジ精神を育成する教育活動の推進 3 生徒会活動やものづくり活動における生徒の主体的取組の支援 4 全ての教育活動における「知恩感謝」の念と自己指導能力の育成 5 「学校いじめ防止基本方針」に基づく、組織的・継続的な、いじめ防止への取組の推進 6 キャリア教育指導計画に基づく、体系的、系統的指導とインターンシップの充実 7 生徒一人ひとりに対するカウンセリングや進路実現に向けてのアドバイスの強化 8 グローバル人材の育成という視点に立った工業教育の推進 9 ICT機器の活用による情報リテラシー教育の充実 10 体育祭、三工祭をはじめとする学校行事の外部への公開と広報活動の推進	
【課題】 ・全クラスでの肅然とした授業規律の確立、意欲的な学習態度の育成 ・学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善の推進 ・自己指導能力の育成と生徒会活動等、生徒の主体的活動のさらなる推進 ・「学校いじめ防止基本方針」に基づく、いじめ問題の未然防止、早期発見、早期対応 ・資格取得、「ものづくり」教育、知的財産教育の充実 ・進路指導(ガイダンス、インターンシップ)の充実 ・キャリア教育指導計画に基づく、各部署と連携した体系的・系統的なキャリア教育の推進				
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
教務部	工業技術者の育成と自ら学ぶ力の向上	各教科、担任、学年、生徒育成部、進路指導部と連携し、授業規律の確立と意欲的な学習態度の育成を図る。 自学自習の効果的な活用を図り、確かな学力の育成を行う。 アクティブラーニングを推進し、生徒が主体的・対話的な深い学びを通してたくましく生きる力を育成する。		
		各教科、担任、保護者との協力体制のもと成績不振者に対する丁寧な指導を行い、成績の改善・学力の向上を図る。 全教科を通して、道徳教育の推進およびコミュニケーション能力の育成を図る。 3系4クラス5学科の特色を活かして、幅広い基礎知識を身に付けさせ、「ものづくり」等の実践の基礎を育成する。		
	教科指導と生徒指導の支援	授業アンケートを実施し、授業改善に向けた資料提供等の支援を行う。 生活アンケートを実施し、生徒の日常の学習状況を把握し、生徒理解・指導の資料として活用する。 出欠状況の統計をとり、欠席等の多い生徒については、関係職員と連携し継続的な指導を行う。		
	企画・運営の円滑化	定期考査の計画・実施を円滑に行い、教室の整備、監督の徹底等を図り、公正確保に努める。 各種資格取得の推進を図り、取得状況の把握を行う。		
図書課	図書館利用を通して、知に親しむ生徒の育成	図書館をインターネットとは異なる利点を持つ情報の入手経路として位置づけ、昨年以上に授業での活用や日常の来館者の増加を図り、貸し出しの促進のための工夫をする。 学習活動に必要な蔵書等の資料を充実させるとともに、レファレンスサービスや広報に努める。 朝の10分間読書に継続して取り組み、読書に親しむ雰囲気醸成を図る。 図書委員会活動をサポートし、各種研修会等への積極的な参加を促す。 社会の出来事や各種記念日などに対応した図書の展示など、レイアウトやイベントの工夫を行う。		
		基本となる指導内容の統一を図り、チーム三工の一員として自覚ある行動ができるように援助し育成する。 挨拶・返事・校歌斉唱等、「知恩感謝」の念を持ち自ら自信を持って行えるよう指導する。 いじめ防止対策委員会等において情報の共有を図り、全職員で組織的・継続的に取組めるよう推進する。		
生徒育成部	生徒指導課	交通安全や登下校指導を計画的に行い、生徒への交通安全・マナーの指導を徹底する。 自転車通学者に対して、自転車のステッカー指導や安全点検を実施する。		
		各委員会に責任を持たせ、具体的方策を立て取組ませることで、主体的運営の促進を図る。 清掃委員会を中心に、定期的強化週間・重点区域を設け、校内清掃の徹底を図る。 学校行事においては、外部への公開と広報活動を推進し、地域に開かれた学校づくりを目指す。		
	保健課	健康な心身の育成及び自己管理ができる生徒の育成 保健室入室の生徒の状況を把握し、担任と連携を取りながら個別指導を行う。 校内の水質検査や消毒液の補充等を行い、環境衛生の整備を図るとともに、保健便り等を通じて感染症予防の啓発を図る。 日頃の委員会活動を充実させ、その中で生徒会行事を引っ張るリーダーの育成を目指し、委員会として成功へ導けるように努める。		
		健康診断で、疾病のおそれのある生徒に治療勧告を行い、自己の健康管理を促すとともに、疾病予防の指導を行う。 薬物乱用防止教育や各種講演会を行い、正しい知識と強い意志、いのちの大切さや人権尊重の意志を身に付けさせる。 進路に対する早期の意識づけを図り、生徒一人ひとりに対しカウンセリングや進路実現に向けてのアドバイスを行う。 進学希望者にはオープンキャンパスや説明会への参加を促し、早い時期から志望校対策ができるよう意識向上を図る。 就職選考試験一次応募での合格率90%以上を目指す。		
進路指導課	進路希望の実現	地元・県内・県外の企業訪問を行い、企業が求める人材や仕事内容等を直接聞くことにより進路指導に生かす。 望ましい職業観・勤労観、及び職業に関する知識や技能を身につけさせる。 工場見学・職場見学等を十分に生かし、ミスマッチを防ぎ、生徒が適性に合った企業を選択できる能力を養う。		

評価項目		具体的目標	具体的方策	評価(3月)			次年度の主な課題
進路指導部	キャリア教育推進課	社会常識とマナーの育成 ・コミュニケーション能力の向上 ・ICT活用能力の育成	マナー指導を通して社会常識を養い、「元氣な挨拶」「礼節を重んじる心」を育成する。 環境や目的に応じて言葉や顔の表情・身振り手振りを使い分ける力(コミュニケーション能力)の向上を図る。 進路指導室でパソコンを開放し、インターネットを活用した企業情報、求人情報、進学情報の収集等、ICT活用能力を育成する。				
		キャリア意識の向上	進路に関するガイダンス等を通じ、情報収集能力と意思決定能力を高める。 キャリア教育計画に基づきLHR活動の体系化と充実を図り意識付けをする。 インターンシップ(2年次)を実施することにより、職業理解や自分理解を深める。				
		進路実現に向けた学力の向上	各企業および各学校の入試・選考方法に対応できるよう情報を収集し、生徒への発信を積極的にを行う。 就職問題集(サクセス)やSPI問題集などの活用を図り、校内校外模試等を積極的に利用し学力の向上を図る。 家庭学習の充実に向けた方策を工夫する。				
企画・情報部	企画課	学校行事等での広報活動を企画する	広報課と連携し広報活動を企画する。 学校行事等の活動内容を広く広報活動し、中学生・保護者・地域の学校理解を深める。				
		PTA活動の活性化	PTA活動やさまざまな行事等へ保護者の参加を呼びかけ、参加率を高める。 楽しく・明るく・実りあるPTA活動を目指し保護者の理解を深め更なる活性化を目指す。				
		行事日程等の調整	学校行事等の企画と調整を早めに確実にを行い円滑な運営を目指す。 月別、学期別に行事を確認する。				
	広報課	中学生のための進路相談事業と体験入学の成功	進路相談事業でのステージ発表・学校PR・個人相談を成功させる。 体験入学に保護者対応の企画を盛り込み、充実させる。				
		学校案内のレベルアップとホームページの充実	中学生の心に響く学校案内を早期に完成させる。 ホームページを毎月初めに更新し、こまやかな情報発信を意識する。 中学生に対しての説明会を充実させ魅力あるものとする。プレゼンの映像をレベルアップする。				
		中学性に対する説明会の充実と学校通信の充実	『三エニューズレター』、『創作工夫通信』、『PTA新聞』の刊行物を出す。				
	研修課	研究授業・公開授業の改善を図る。	研究授業・公開授業は1・2学期に実施し、参観後評価点を集計・公開し授業改善に努める。 初任者研修の研究授業等の機会を活用し多くの出席と合評会の参加を願って授業改善を図る。				
		校内研修会を就職指導と工業教育により結びつける。	キャリア教育研修会を年に2回実施し就職指導の良いところを共有し合うようにする。 工業研修を取り入れ工業高校の教育の重要性を再認識する。				
		研究紀要の充実	早期の原稿依頼とパソコン入力への徹底。 基本研修及び初任研の充実を図り研究紀要の充実を図る。				
	情報課	ICTを用いた授業の推進	研究授業や公開授業において電子黒板などの積極的なICT機器の活用を呼び掛ける。 CAI教室の活用を拡大させたり、特別教室にICT機器を設置したりするなど、ICT教育の環境をサポートをする。				
校内ネットワークの維持・管理		サーバ内の整理・整頓や、連絡黒板をのさらなる活用など、ネットワークの使いやすい環境を整える。 校務用パソコンの入れ替えに伴う保守・管理を円滑に進め、快適なネットワーク環境を維持する。 自動アップデートソフト、ウイルス対策ソフトをインストールし、セキュリティの確保を行い、生徒用コンピュータのセキュリティ対策を定期的に実施する。					
情報セキュリティの確保		各教科と連携し、柔軟かつ適切に、情報モラルを身につけさせる環境を整える。					
1学年		教科指導 ・学力の向上および成績不振者への対策 ・資格取得の向上	朝読・自学の取組みに力を入れ、毎日学習する習慣を身につけさせる。 成績不振者に対しては、担任や教科担当者、保護者と連携しながら個別指導に力を入れる。 クラスを超えて学年全体で資格取得に向けた取組を充実させ、学年全員の合格を目指す。				
		生徒指導 ・校則遵守および時間厳守 ・いじめのないクラスづくり	校則遵守の意識付けを行うとともに、挨拶における語先後礼の習慣化を図る。 常に5分前行動を徹底させ、時間に余裕を持った行動ができるよう指導していく。 個人面談やいじめアンケートを利用し、いじめの早期発見・対応に努める。また、日常的な声掛けも積極的にを行う。				
		進路指導 ・進路実現に向けた早期取組	生徒の希望進路に合わせた選科指導となるよう、各科との連携を高めて指導に当たる。 常に目標を持たせることで達成感や充実感を味わわせ、意欲的に希望進路実現に取組む姿勢に繋げていく。 就職・進学に関する情報提供を、進路ガイダンスや進路講話を多く取入れながら行う。				
		特別活動 ・学年集会および学校行事の充実 ・部活動の活性化	集会時において礼節を重んじた態度で臨ませながら所属意識を高める指導を行う。 全生徒に役割を与えながら行事等に参加させ、学校全体の活気へ繋げる。 加入率95%を超えるよう積極的に声掛けを行いながら部活動の活性化を図る。				
		教科指導 ・成績不振者への対策と資格取得の向上	担任と教科担当者そして保護者との間で情報交換を密に取り、徹底した個別指導を行うことで成績不振者ゼロを目指す。 各教科と連携し、計画的に難易度の高い資格取得に向けた指導にあたる。				
		生徒指導 ・自主的に行動する意識を身に付けさせる	自らを知り、目標を持って行動し、失敗を恐れずに自主的な行動ができる生徒育成を目指して、教員全体で統一した指導にあたる。 社会で通用する心を育むために、コンプライアンス遵守(校則の遵守)の指導にあたる。				
2学年		進路指導 ・進路実現に向けた早期取組	進路ガイダンスやインターンシップの経験を通して、勤労観及び職業観の育成に力を入れる。 SPIを自学で取り組み、実際の求人票などを見ることで具体的な将来像を自分で設計できるように進路実現を目指した指導にあたる。				
		特別活動 ・いじめのないクラスづくりと学年集会の充実	個人面談を通して得た気になる生徒の情報共有を図り、常に生徒の動向を敏感に感じ取れる体制を確立する。 学年所属の教員全員が生徒の前で体験談など具体的な話をしてもらって体制づくりを行い、聞く力・話す力を養わせる。 担任と教科担当者との情報交換を密に行い、教務課及び保護者との連携をとり、徹底した個別指導にあたる。				
		教科指導 ・成績不振者の対策と資格取得の向上	残り1年間でのジュニアマイスターの称号取得に向け、科との連携で計画的な資格取得に向けた指導にあたる。				
3学年		生徒指導 ・挨拶の充実	「止まって挨拶・黙想」を徹底し、社会のマナーを身につけさせる。 生徒と教師との人間関係の確立に重点をおき、元気に挨拶ができる生徒育成に力を入れる。				
		進路指導 ・進路実現に向けた取組	進路ガイダンスを行い、勤労観、職業観の育成に力を入れる。 進路実現を目指し、常に向上心を持続させる指導にあたる。(就職・進学の朝課外の充実)				
		特別活動	生徒一人一人を把握しやる気を持たせ、クラスづくりや仲間づくりに力を入れ、いじめ防止等に努める。				
		・HR及び学年集会の充実	学年団が各部署と連携し、いろいろな話しをしてもらって体制づくりを行い、聞く力・話す力を養わせる指導にあたる。				

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
電子機械科	検定・資格取得の推進	資格・検定試験へ生徒自らが主体的にチャレンジし、ジュニアマイスター認定12名以上をめざす。 専門知識と技術の深化・統合化をはかるとともに、学ぶ意欲や自学自習力の向上を図る。		
	ものづくりを通じた学習指導	ものづくりコンテストの上位入賞および、技能検定の上級資格取得をめざし自立心ある生徒を育成する。 実習その他あらゆる機会をとらえ、QC活動(工具管理、清掃)を実践すると共に、安全教育の徹底をはかる。		
	あらゆる機会を捉えての生徒指導	礼儀正しく元気な挨拶、服装頭髪を整え遅刻欠席を減らす等、機会あるごとに指導し、精勤・皆勤者9割以上をめざす。 生徒自らの望ましい勤労観や職業観の育成と進路実現のための支援指導を科全職員であたり魅力ある科を目指す。		
	学校生活 ・元気はつらつな電気科を継続・発展させる	皆勤+精勤合計80%以上をめざす。(昨年度71%) 特に欠席、遅刻等が多い生徒は、科で指導する 学習活動、部活動、学校行事等全てにおいて文武両道で活躍する電気科を継続。(昨年体育祭優勝) 広報活動を活発に行い、受験者を増やす		
電気科	資格取得 ・電気科の全職員で指導 ・資格勉強の仕方まで教え、自学自習を習慣化させる	第二種電気工事士の合格者をさらに増やす(昨年度3年生4名、2年生35名、合計39名) 第二種電気工事士の、クラス全員合格を達成する 第一種電気工事士の合格者をさらに増やす(昨年度3年生6名、2年生11名、合計17名) 第二級陸上特殊無線技士の合格者をクラス9割以上まで増やす(昨年度26名(65%))		
	ものづくり ・課題解決能力と「創作工夫」する力を育成する ・主体性と「知恩感謝」を育成する	ものづくり大会電気工事部門に出場し、上位入賞を果たす(昨年7位) 技術アイデアコンテストに応募し、入賞を目指す(昨年度10件応募、1件佳作入選) ソーラーボート大会に出場し、優勝をめざす(昨年度全国4位入賞) 競技ロボット大会に出場し、入賞と全国大会進出を目指す エコデカンカー大会に出場し、優勝を目指す(昨年度全国11位)		
	進路指導 ・大手企業に多数内定させる ・進路決定100%を早期に達成する	大手企業への多くの内定を勝ち取る(昨年度、関西電力2名、デンソー1名、きんでん2名、九電工2名、プリヂストン就職試験一次合格率90%以上を目指す(昨年度83%) 進路決定率100%を昨年より早く達成することを目指す(昨年度11月末に達成)		
	情報電子科	基本的な生活習慣を確立し、規則を遵守する態度を育てる。 基礎学力の向上と進路実現のための学習力を身につけ、目標の進路を達成させる。 企業が求める人材を育成する。	規則正しい生活習慣を身につけさせ、睡眠時間の確保と確りとした朝食を取り、毎日の体調管理を考えさせる。 前年度より、皆勤賞、精勤賞の人数を増やし、時間の厳守・身だしなみ・清掃・挨拶・言葉使い等の徹底した指導を行う。 定期的な面談を行い、個人に合った学習法を提示し、自宅学習の習慣化を図り、基礎学力を身につけさせ、応用問題、技術に繋がる力を養う。 企業情報収集能力の育成を行い、確りとした進路目標を持たせ、自らの進路目標を達成できるようキャリア教育を行う。 実習、課題研究等で基礎的専門技術力を身につけさせる。ロードレースや体育祭等でチームワークの重要性を理解させる。 各種の資格取得者増を目標に指導を行い、企業が求める人材をよく理解させ、仕事人としての心を養う。	
土木科	思いやりの心を持つたくましい人材の育成	学校行事を通して、チームワークや思いやりの心を身に付けさせる 挨拶や服装を整えさせマナーの向上を図る 5Sの徹底(整理・整頓・清潔・清掃・躰)及び土木科の+3S(施錠・消火・スマイル) 時間の大切さを教え、皆勤率の増加を図る		
	確かな学力を身に付けさせ、進路実現を図る	分かりやすい授業になるよう工夫改善を図り、個に応じた指導を行なう 企業訪問等の資料を活用して、各生徒に応じた進路指導を行ない、一次合格率の向上を図る 朝課外を充実させ、公務員合格者の増加と学力の向上を目指す 補習授業を充実させ、測量士補、2級土木施工管理技士の国家試験合格者の増加を図る		
	土木技術者の育成と広報活動の向上	測量競技大会や、つまようじタワーコンテストにおいて上位入賞を目指す ホームページの更新を適宜行い、広報活動に力を入れる		
工業化学科	基本的な生活習慣と規範意識の確立	基本的な生活習慣を確立させ、遅刻・欠席を減らし、精勤率・皆勤率合わせて70%を目指す。 頭髪・服装、挨拶・言葉使いなど規範意識と礼節を重んじる態度を育成する。 生徒が学校に誇りを持ち、意欲的な学習態度が育成されるよう、科の職員全員で指導に取り組む。		
	確かな学力の育成と進路実現に向けたキャリア教育の充実	授業・実習・課題研究の改善に積極的に取り組み、主体的・対話的で深い学びを目指す。 面談・面接指導等、生徒の希望と適性に応じた進路指導を充実させ、進路実現(第一希望100%)を目指す。 1年生からキャリア教育を体系的・系統的に推進し、進路目標に向けて努力する学校生活の実現を目指す。		
	創作工夫と主体的な行動のできる化学技術者の育成	中学生へのアピール、1年生への指導とアピールを充実させ、工業化学科の希望者を増やす。 資格取得において組織的・系統的な指導を推進し、危険物取扱者では5名以上の甲種合格を目指す。 ものづくりコンテスト福岡県大会化学分析部門において、出場生徒の指導を充実させ優勝を目指す。		